

(別紙5)

整理番号 2024P-086
補助事業名 2024年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業
補助事業者名 一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ロボット競技会を核としてあらゆる人々が科学技術を学べる機会と場所を提供し、学びの道筋およびチームにおける個々人のロールモデルとその習得過程をカリキュラムとして整備・提供することで、ロボット競技会を教育プログラムとして昇華させ、それに基づき次世代のエンジニアを育成することをもって、公益の増進を図る。

(2) 実施内容

エンジニア選手権の開催 <https://core.scramble-robot.org/>

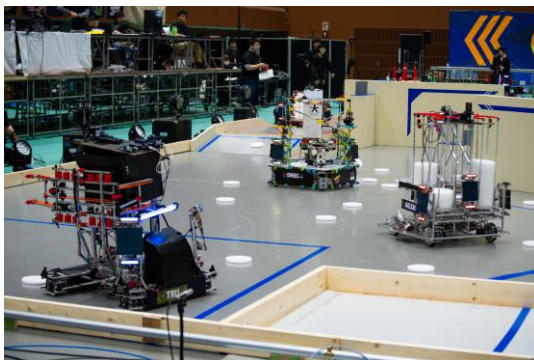
5名以上のチームで大型のロボットを製作し出場するエンジニア選手権 (CoRE: The Championship of Robotics Engineers) を開催した。選手権では複数のチームが「同盟」を組んで最大5機vs 5機のチーム戦を競うため、製作過程でのチーム内のチームワークのみならず、選手権中はチーム同士の協調と協力が必要な仕組みとなっている。



大型アリーナを貸し切った会場では、eスポーツさながらの華やかな照明がエンジニアを照らす。



出陣したロボットは地形を克服し、自陣営で連携しながら敵の撃破、陣地の獲得を目指す。



2台のロボットが協力して1台のロボットを追い込み、ディスクを射出して撃破を狙う。



操縦席では各ロボットにオペレータが1名付き、後方の総大将が大型モニター越しに全オペレータを指揮する。ロボットに搭載されたカメラのみを頼りに操縦するため、画面の見やすさも各者の工夫のポイントとなる。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

本事業を通じて、ロボット製作技術だけでなく、チームで期限内にロボットを製作するマネジメント、チーム間での世代・属性を超えた協力関係の構築など、実社会でも要求される様々なスキルを自然に身に付けることができる選手権を企画・開催することができた。今後は更にこの枠組みを発展させ、優れた科学技術人材を育成する教育プログラムとして整備していく。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・選手権 web サイト <https://core.scramble-robot.org/>



選手権 web サイト (トップページ外観)

- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構
(ジセダイロボットエンジニアシエンキコウ)

住所： 〒619-0294
京都府相楽郡精華町精華台 7-5-1
けいはんなオープンイノベーションセンター209号室

代表者： 代表理事 川節拓実 (カワセツタクミ)
担当部署： 会計グループ (カイケイグループ)
担当者名： グループリーダー 小林一穂 (コバヤシカズホ)

電話番号： 090-4436-8199

E-mail: kazuho.kobayashi@scramble-robot.org

URL: <https://core.scramble-robot.org/>